

# ご自分の血液からフィブリン<sup>のり</sup>糊を作る患者さんへ

東京大学大学院医学系研究科・医学部  
監修：内科学専攻病態診断医学講座輸血医学 教授  
東京大学医学部附属病院 輸血部 部長 岡崎 仁 先生

東京大学医学部附属病院  
手術部／整形外科・脊椎外科  
谷口 優樹 先生

## フィブリン<sup>のり</sup>糊について

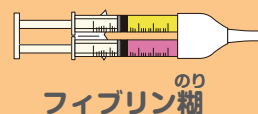
手術部位をなるべく早く<sup>せつちやく</sup> 接着・閉鎖して血液などが漏れ出すのを防いで術後の回復をよくするために、フィブリン<sup>のり</sup>糊が使われます。

フィブリン<sup>のり</sup>糊は血液から作られます。  
一般に販売されているフィブリン<sup>のり</sup>糊は、献血などで集められた他の人の血液を主原料にして作られます。



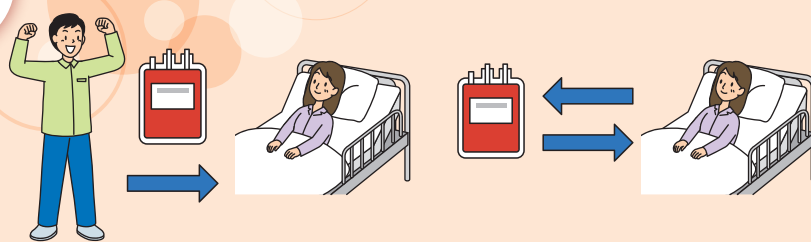
### 【自分の血液で作るフィブリン<sup>のり</sup>糊】

自分の血液から作るフィブリン<sup>のり</sup>糊は、アレルギーや感染などのリスクが低く、また、十分な量を作ることができます。



## 自己血輸血について

献血由来の血液ではなく、自分の血液を使う輸血のことを自己血輸血といいます。



献血由来の血液による輸血：  
他の人の血液を輸血

自己血輸血：  
自分から自分へ

### 【輸血のリスクについて】

献血由来の血液を使う輸血にともなうアレルギーや感染などのリスクは低くなりましたが完全にはなくなっておりません。より安全な輸血のために自己血輸血を選ぶ場合があります。

# 自己血輸血のための採血について

採血は手術の前にあらかじめ余裕を持って行われます。

採血する日の体調管理も手術する日と同じようにとても大切です。

病院スタッフの話をよく聞いて栄養や睡眠などに気を付けて過ごしましょう。



## 【採血とフィブリン糊の作製から使用までのスケジュール】

フィブリン糊は、通常、手術の約1カ月～1週間前をめやすに採血して作られ、冷凍保存され、手術する日に解凍して使用されます。

### スケジュール例

